

保護地域における景観まちづくり団体の継続要因
全国の景観まちづくり団体の特徴と活動継続性に関する研究

別府の湯けむり・温泉地景観 (大分県別府市)

大分大学 建築・都市計画研究室
1256003 安藤万葉

1. 研究の背景と目的

■ 背景

2004年の景観法の実施により、景観維持における住民参加の必要性が謳われ
市民が景観まちづくりに参画する事例が各地で見られるようになった



■ 景観まちづくり団体

構成員、活動資金の確保、事業の推進等
様々な問題を抱えながら活動している

■ 活動目的

伝統的な町並みの保存・再生
自然景観の保全
生活環境の向上



地域の特性を活かして活動している

1. 研究の背景と目的

(重要文化的景観) 近江八幡の水郷 (滋賀県)



<http://www.bunka.go.jp>

釧路湿原国立公園 (北海道)



<https://city.hokkai.or.jp>

■ 保護地域の定義

- ①一定の範囲が指定されており、地域でそれぞれの価値に対する保存・管理が行われている、レジャーの為に人為的に創造された空間でない
- ②国による管理や法規制がある
- ③国による管理や法規制はないが運営組織をもっている



①かつ②または①かつ③に当てはまるものを**保護地域**と定義した



- ・重要文化的景観
- ・重要伝統的建造物群保存地区
- ・世界遺産

- ・国立公園
- ・国定公園
- ・ジオパーク
- ・トラスト地

1. 研究の背景と目的

- 保護地域は**選定後も保存や管理が必要**
- 選定により**補助制度や法規制等のメリット**

既往研究より

- 景観まちづくり団体の**活動継続には人材・資金確保の課題**



■ 目的

保護地域の保護・管理活動を行う景観まちづくり団体が活動を継続するための課題や要因を明らかにする

2. 研究の方法

■ 研究の方法

1 2007年から2014年にかけて活動継続が確認された
景観まちづくり団体の特徴を類型化し全体的な傾向を把握（444団体）

2 保護地域で活動する団体を抽出し、アンケート調査の結果を用いて
保護地域の分類別に活動の継続要因の特徴を把握（28団体）

■ アンケート調査

調査対象：2007年から2014年まで活動継続していた団体

実施時期：2014年11月～11月30日

調査手法：メール送信及び郵送により調査票を配布・回収

有効回答数：100/364通（回収率27.5%）

2007年から2014年まで活動が継続された景観まちづくり団体444団体のうち
アンケートの送信先が確認できたのは364団体であった

3. 団体の分析と類型化

数量化Ⅲ類分析により活動継続が確認された
景観まちづくり団体の特性を把握する

活動特性

- ・ 活動目的
- ・ 目的の変遷
- ・ 組織形態

活動地域特性

- ・ 都市規模
- ・ 保護地域

アイテム	カテゴリー	第1軸 【活動の多様性】		第2軸 【地域特性】		第3軸 【団体の規模】	
目的の変遷	なし	-0.715	3.781	-0.234	1.237	0.232	1.225
	あり	3.066		1.003		-0.993	
活動目的	1つ	-0.788	3.430	-0.303	1.320	-0.242	1.052
	2つ以上	2.642		1.017		0.810	
保護地域	なし	-0.632	0.924	2.459	3.591	0.541	0.791
	あり	0.291		-1.132		-0.249	
都市規模 人口	30万人以下	0.200	0.704	-0.690	2.432	1.033	3.641
	30万人以上	-0.504		1.742		-2.608	
組織形態	法人格なし	-0.722	1.331	0.748	1.378	1.530	2.819
	法人格あり	0.608		-0.630		-1.289	
固有値		0.301		0.210		0.202	
相関係数		0.549		0.459		0.450	
累積比		0.301		0.511		0.714	

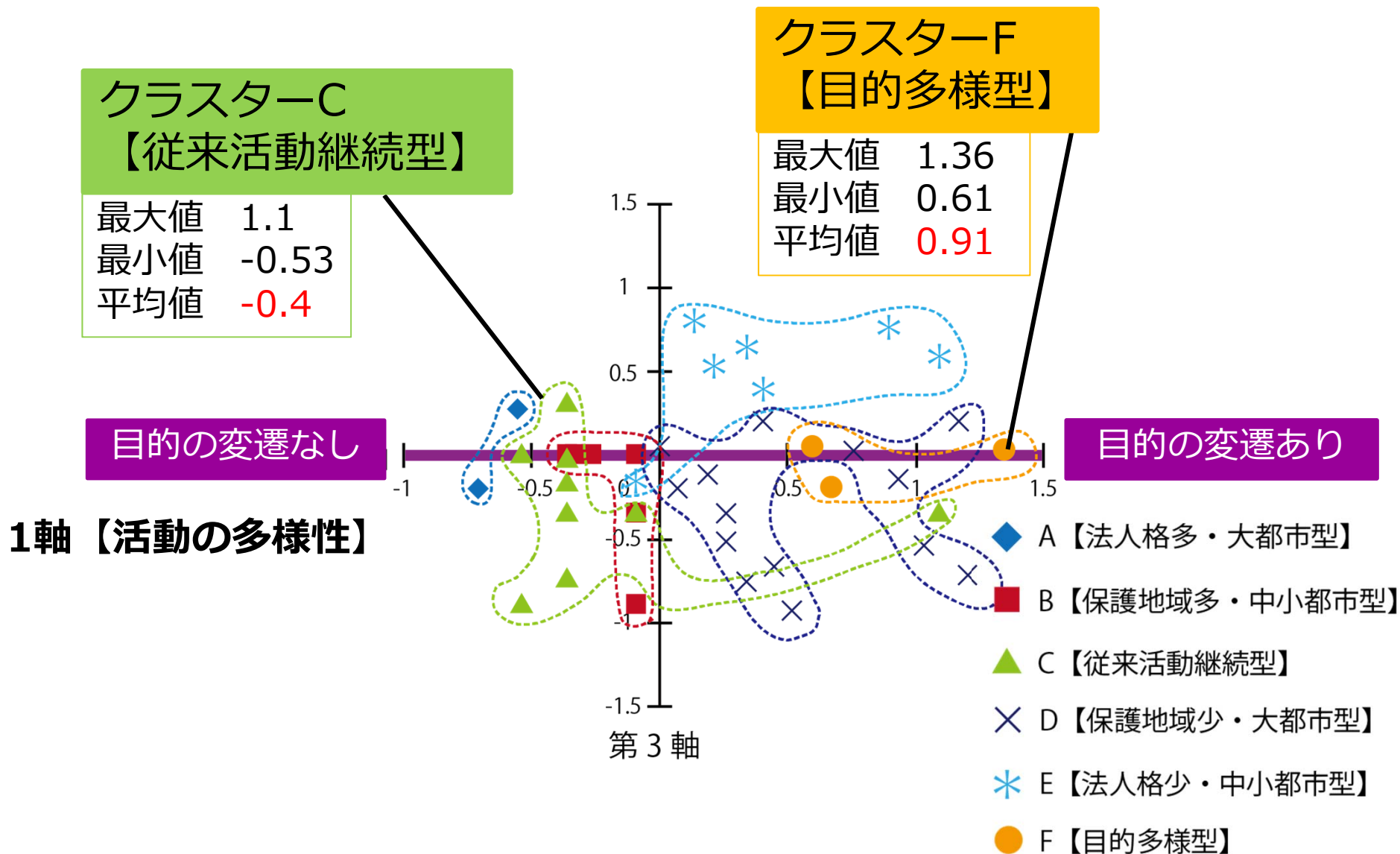
レンジの開きが大きい項目

各軸の相関係数0.4以上,累積寄与率70%以上の3軸を
景観まちづくり団体の全体的な傾向を説明する軸として抽出した

3. 団体の分析と類型化

■ サンプルスコアプロット図

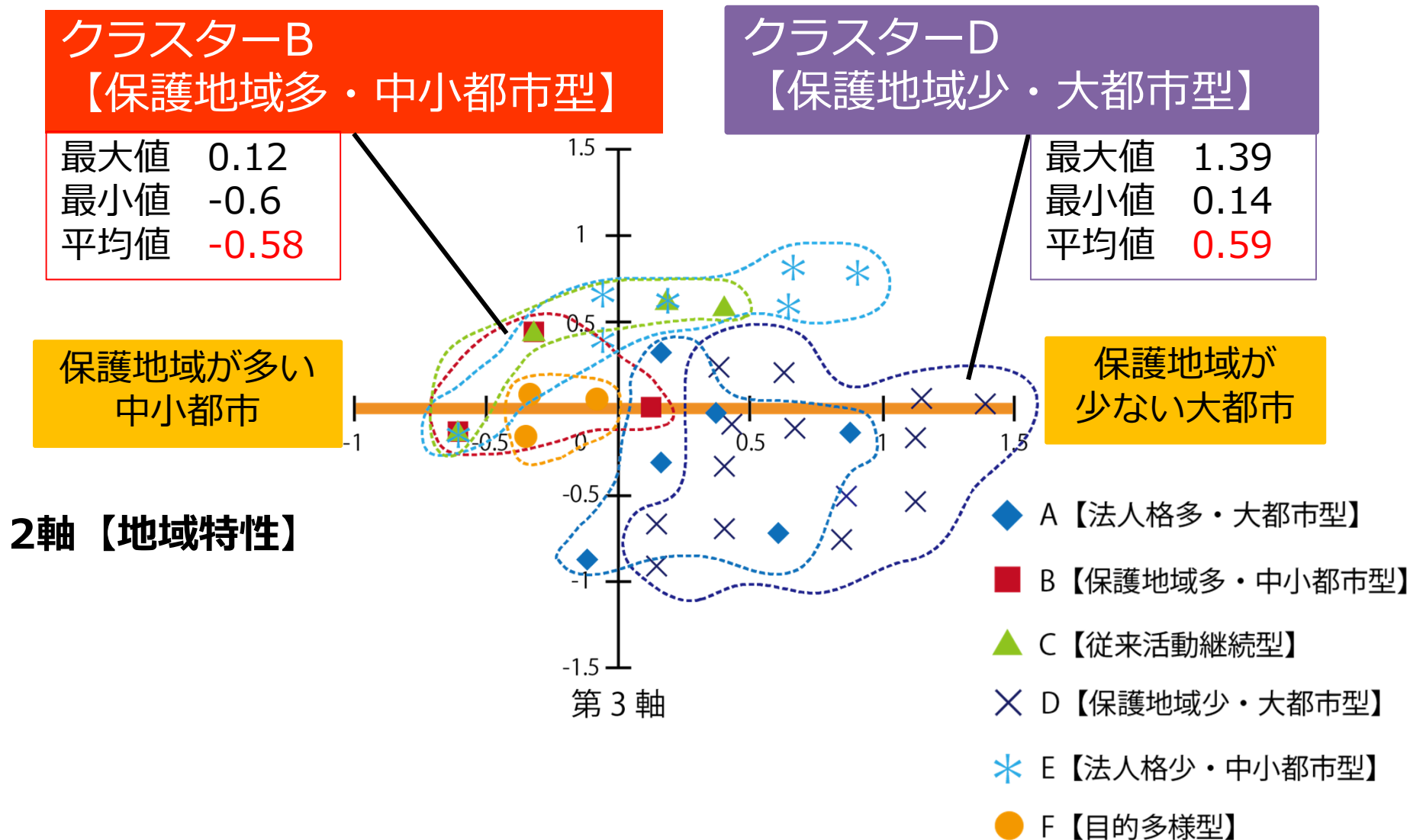
1軸×3軸



3. 団体の分析と類型化

■ サンプルスコアプロット図

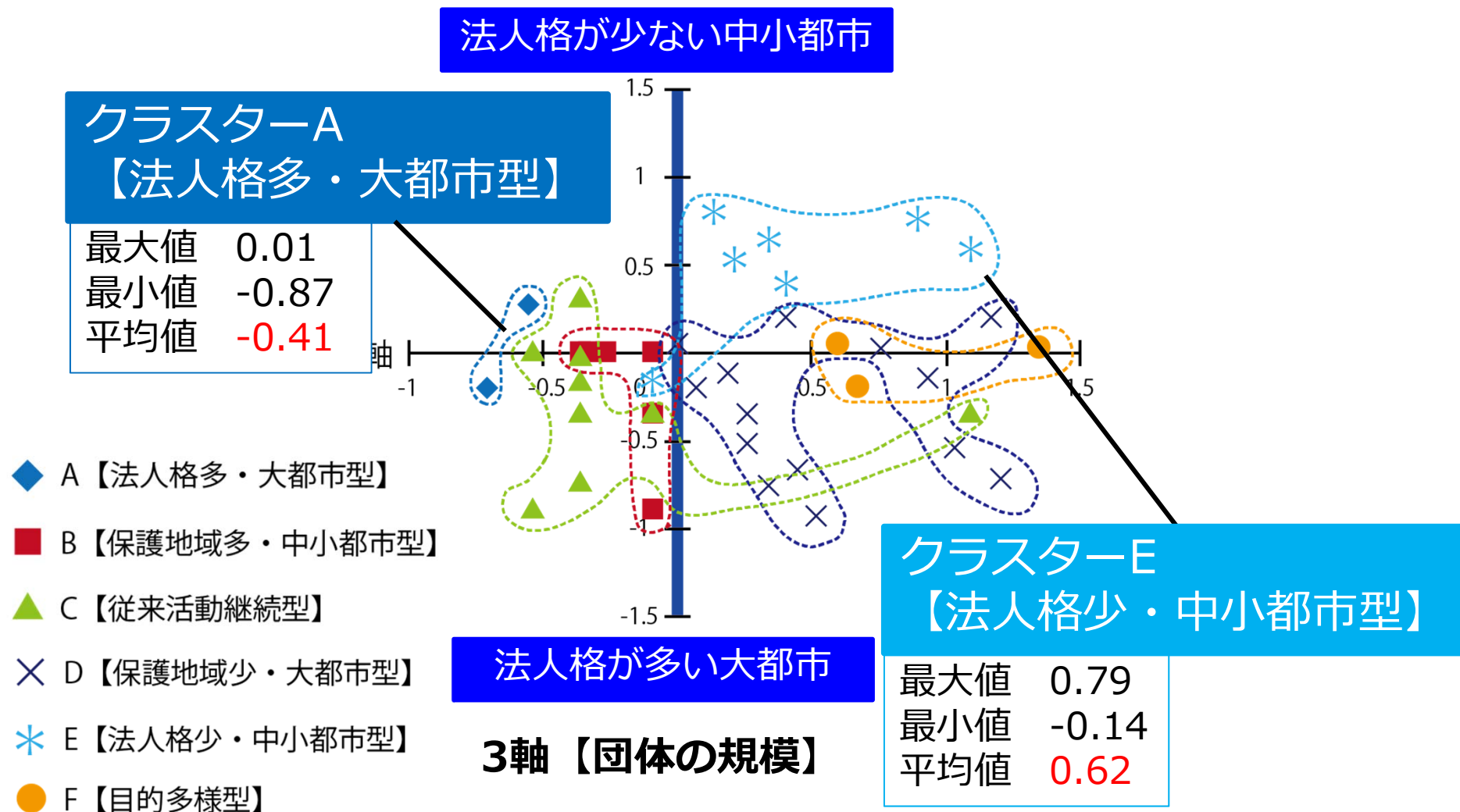
2軸×3軸



3. 団体の分析と類型化

■ サンプルスコアプロット図

1軸×3軸



4. 全国の保護地域で活動する団体の特徴

団体の活動範囲内に保護地域をもつ304/444団体を対象に
団体の活動内容と保護地域の関係性を確認



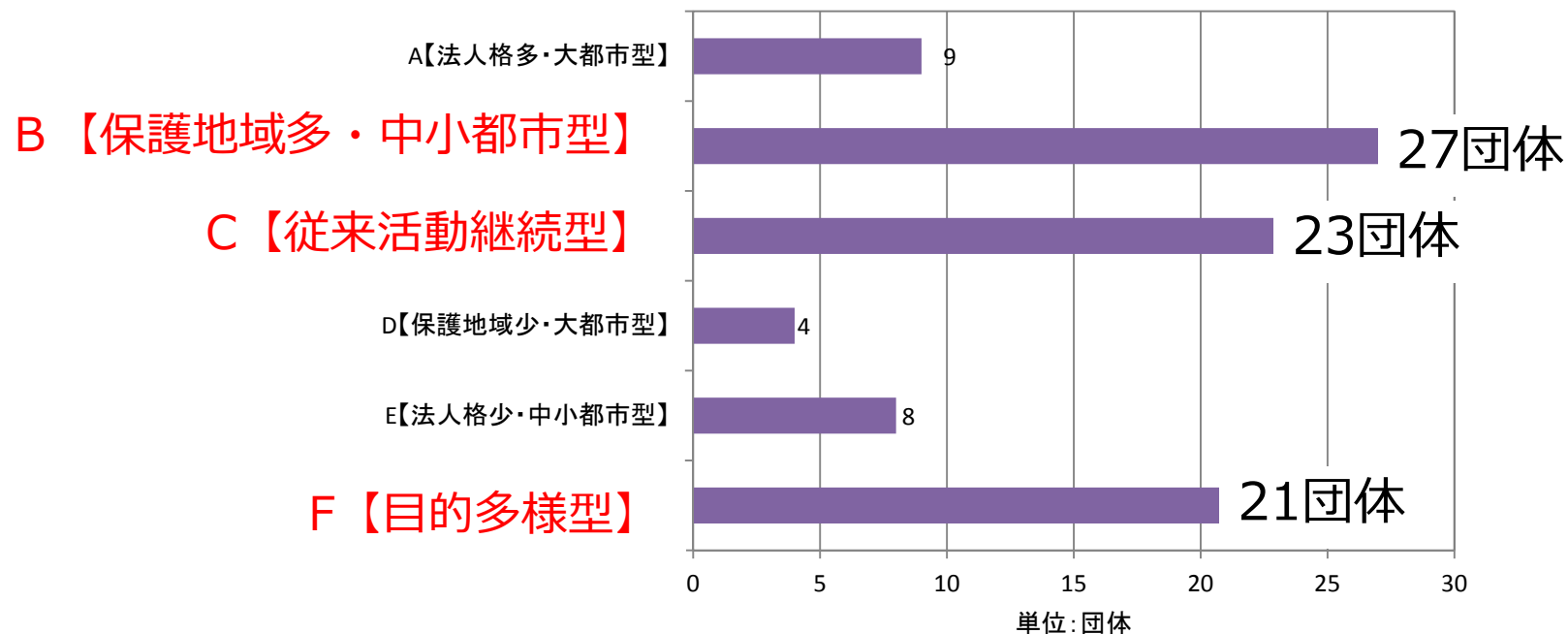
保護地域の保護・管理活動を行う団体は92/444団体



92団体を対象に保護地域で活動する団体の特徴と
団体の活動継続のための課題や要件の把握

4. 全国の保護地域で活動する団体の特徴

■ 92団体のクラスター別の特徴

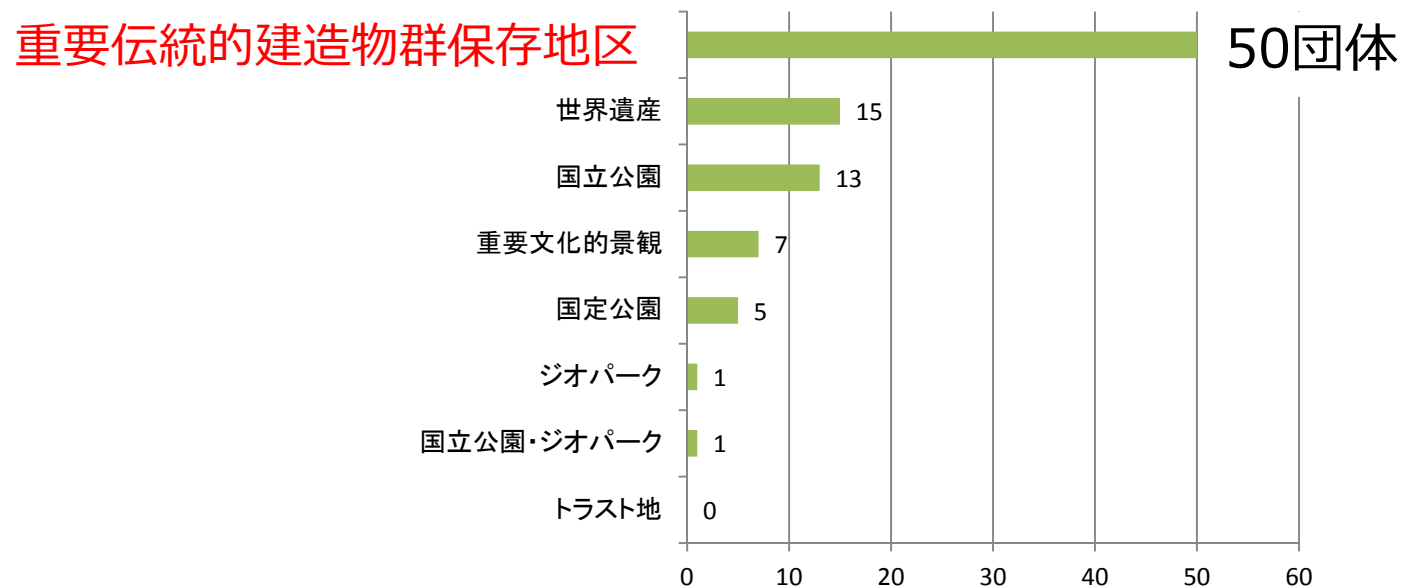


特徴

- ・ 中小都市で活動する団体
- ・ 一定の目的で活動を続ける団体
- ・ 目的を多様化させながら活動する団体

4. 全国の保護地域で活動する団体の特徴

■ 92団体の活動範囲に関する保護地域



重要伝統的建造物群保存地区



保護対象物が伝統的建造物や工作物など明確

活動する団体数が多くなる

5. 保護地域分類別の団体の特徴と傾向

アンケートの結果をもとに
『単年度予算』 『活動継続上の課題』 『活動継続上の要件』
の3つの項目について整理して活動継続要因を調べる

■ 保護地域の分類



92団体のうち、アンケートの回答があったのは**28**/92団体

文化財型 22団体

- ・重要文化的景観
- ・重要伝統的建造物群保存地区
- ・世界文化遺産

保護地域	団体数
重要文化的景観	1
重要伝統的建造物群保存地区	18
世界遺産	3
国立公園	4
国定公園	2
ジオパーク	0
トラスト地	0
合計	28

自然資源型 6団体

- ・国立公園
- ・国定公園
- ・ジオパーク
- ・トラスト地

保護地域にばらつきがあるため**2**つのタイプに分けて考察を行う

5. 保護地域分類別の団体の特徴と傾向

【文化財型 22団体】

項目	回答	%
単年度予算	■200万円以上	32%
	■10万円～50万円	23%
	■50万円～100万円	
継続上の課題	■新規参加者の不足	55%
	■活動資金の不足	41%
	■地域住民との意識の差	36%
	■有識者の支援	32%
継続上の要件	■新規参加者の確保	50%
	■活動資金の確保	36%

【自然資源型 6体】

項目	回答	%
単年度予算	■10万円～50万円	67%
継続上の課題	■新規参加者の不足	67%
	■団体と行政や事業者との合意形成	50%
継続上の要件	■新規参加者の確保	83%
	■行政と事業の重要性を具体化・共有	50%
	■普及・啓発	

【文化財型・自然資源型共通】

人材の確保

【文化財型】

予算規模にばらつきがある文化財の保護・保全活動の為に**活動資金の確保**や、地域住民だけでなく**有識者の力**も必要

【自然資源型】

低予算で活動を行う国立公園・国定公園ともに法規制により管理されるため**行政や事業者との連携**が必要
活動の普及・啓発による人材確保

6. 総括

■ 団体の分類

A【法人格多・大都市型】

B【保護地域多・中小都市型】

C【従来活動継続型】

D【法人格多・大都市型】

E【保護地域多・中小都市型】

F【従来活動継続型】

6つのタイプに分類して全体的な傾向を把握

7. 今後の課題と展望

■ 個別のヒアリング調査を行い、活動継続のための**具体的な解決策の把握**

- ・ **目的を多様化**させながら活動する団体
- ・ **重要伝統的建造物群保存地区**で活動する団体

■ **保護地域で活動する団体の活動継続するための課題や要件**

【文化財型】

人材・資金確保
有識者の支援

【自然資源型】

人材確保
行政や事業者との連携
活動の普及・啓発

■ 景観まちづくり活動

景観まちづくり活動：自然，歴史，文化，町並みなどを活用して住民などが自由に参加して行うまちづくり

■ 景観まちづくり団体

- ①地域で景観まちづくり活動を行っている団体
- ②景観まちづくり活動を行おうとしている団体
- ③以上①，②の団体を支援する活動をしている団体

(ただし，宗教活動，政治活動，営利を目的とする団体は除外)

■ 都市規模

区分基準は総務省が各種統計に用いている都市規模の設定に準ずる。
30万人以上の政令指定都市規模，中核都市規模を「大都市」とし，
30万人以下の特例市・中都市規模，市町村規模を「中小都市」と定義した。

■ クラスタ分析

クラスタ分析については，各サンプルの類似性を判断するための「距離」と，それをクラスタ化する「方式」にいくつか種類がある。
本研究では，「距離」をユークリッド距離の二乗とし，クラスタ化の「方式」は，ワード法を用いた。

3. 保護地域について

保護地域がある地域で活動する団体 304団体/444団体

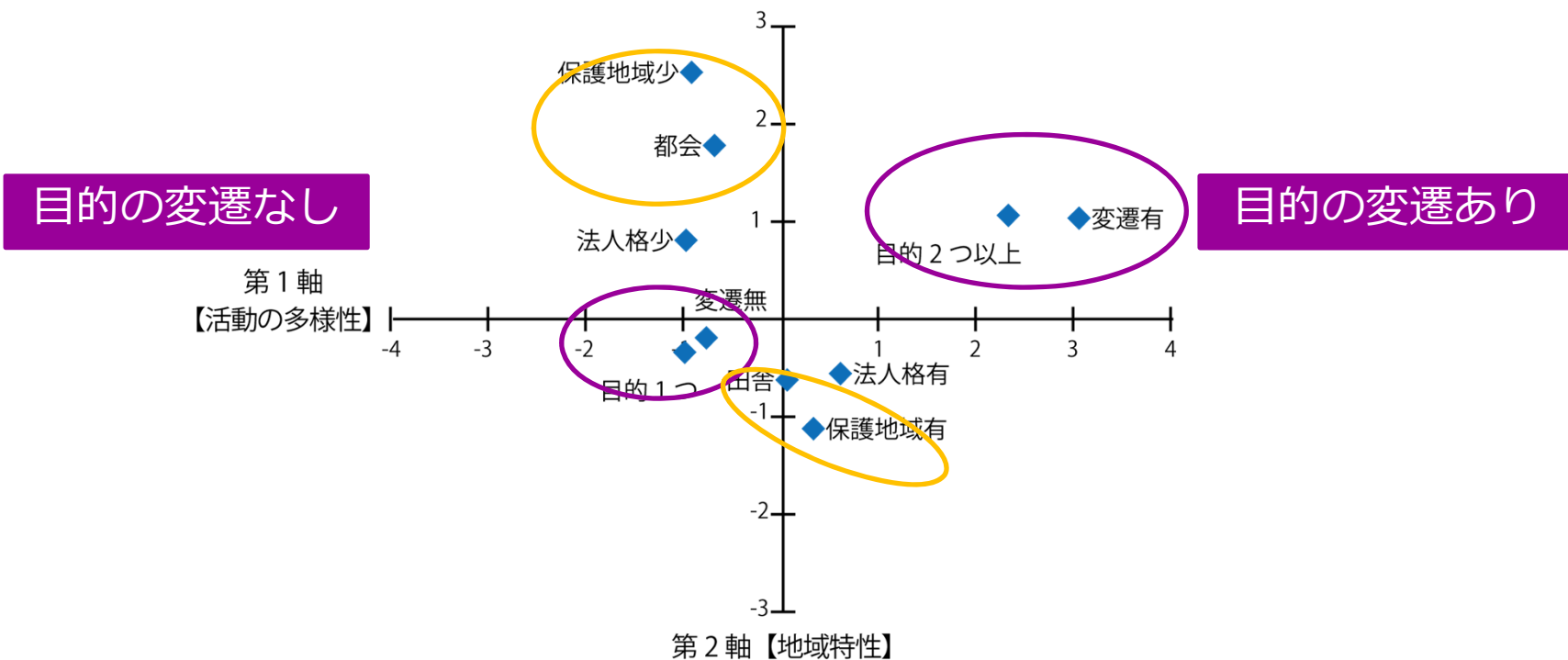
保護地域名称	重要文化的景観	重要伝統的建造物群保存地区	ジオパーク	国立公園	トラスト地	世界遺産	国定公園
根拠法令	○	○	-	○	-	○	○
管理(主体)	市町村	市町村	市町村 ジオパーク委員会	国	市町村 トラスト団体	国	都道府県
審査	○	○	○	○	-	○	○
助成の制度	○	○	○	○	○	○	○
初選定	2006年1月26日	1976年9月4日	2008年12月8日	1934年12月4日	2007年9月5日	1993年12月11日	1950年7月24日
選定数	47か所 (2015年1月26日現在)	110か所 (2015年7月8日現在)	39か所 (2015年9月4日現在)	32か所 (2013年3月27日現在)	39か所 (2015年10月13日現在)	19か所 (2015年7月5日現在)	56か所 (2015年3月16日現在)

3. 団体の分析と類型化

■ カテゴリースコアプロット図

(1軸×2軸)

保護地域が少ない都会



第1軸【活動の多様性】

正：目的の変遷がある

負：目的の変遷がない

第2軸【地域特性】

正：保護地域が少ない都会

負：保護地域が多い田舎

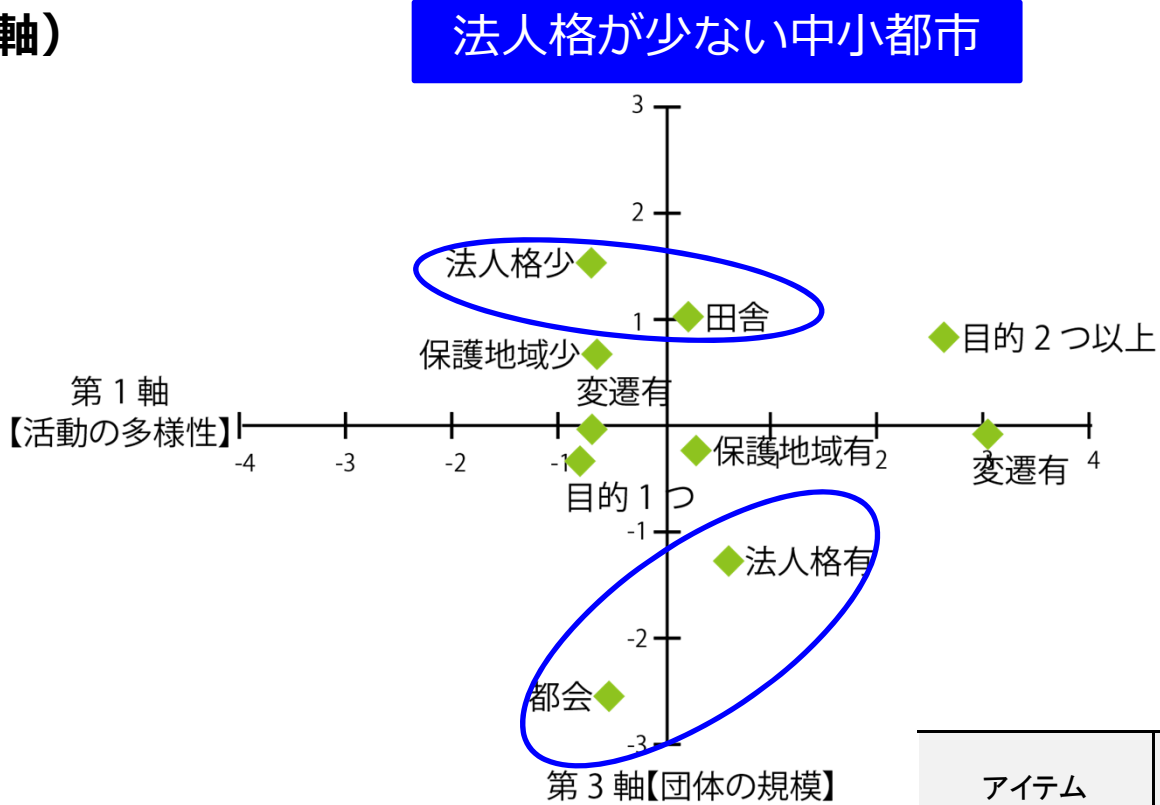
保護地域が多い田舎

カテゴリー	カテゴリー	カテゴリースコア			
		1軸 【活動の多様性】	レンジ	2軸 【地域特性】	レンジ
目的の変遷	無	-0.715	3.781	-0.234	1.237
	有	3.066		1.003	
保護地域	1つ	-0.788	3.591	-0.303	1.320
	有	2.459		1.017	
都市規模 人口	無	2.459	3.591	2.459	3.591
	有	-1.132		-1.132	
都市規模 人口	中小都市	-0.690	2.432	-0.690	2.432
	大都市	1.742		1.742	

3. 団体の分析と類型化

■ カテゴリースコアプロット図

(1軸×3軸)



法人格が少ない中小都市

法人格が多い都会

第3軸【団体の規模】
 正：法人格が少ない田舎
 負：法人格が多い都会

アイテム	カテゴリー	カテゴリースコア	
		3軸 【団体の規模】	レンジ
目的の変遷	無	0.232	1.225
	有	-0.993	
活動目的	1つ	-0.242	1.052
	2つ以上	0.810	
保護地域	無	0.541	0.791
	有	-0.249	
都市規模 人口	中小都市	1.033	3.641
	大都市	-2.608	
組織形態	法人格無	1.530	2.819
	法人格有	-1.289	

アイテム	カテゴリー		団体数	カテゴリースコア					
				1軸 【活動の多様性】	レンジ	2軸 【地域特性】	レンジ	3軸 【団体の規模】	レンジ
目的の変遷	無	0	360	-0.715	3.781	-0.234	1.237	0.232	1.225
	有	1	84	3.066		1.003		-0.993	
活動目的	1つ	0	342	-0.788	3.430	-0.303	1.320	-0.242	1.052
	2つ以上	1	102	2.642		1.017		0.810	
保護地域	無	0	140	-0.632	0.924	2.459	3.591	0.541	0.791
	有	1	304	0.291		-1.132		-0.249	
都市規模 人口	中小都市	0	318	0.200	0.704	-0.690	2.432	1.033	3.641
	大都市	1	126	-0.504		1.742		-2.608	
組織形態	法人格無	0	203	-0.722	1.331	0.748	1.378	1.530	2.819
	法人格有	1	241	0.608		-0.630		-1.289	
固有値				0.30063		0.21045		0.20241	
相関係数				0.54829		0.45875		0.4499	
累積比				0.30063		0.51108		0.71349	

■ クラスタ分析

クラスタ分析とは、
 いろいろ異なった性質のものがまざり合っている対象の中から、
 互いに似たものどうしを集めて集落（クラスタ）をつくり、
 それらを分類しようとする方法である。

3. 団体特性の類型

第1軸～第3軸のサンプルスコアを用いて
クラスター分析を行う



クラスターA～Fに分類された

444団体の クラスター分析結果	1軸 【活動の多様性】	2軸 【地域特性】	3軸 【団体の規模】
クラスターA 【法人格有・大都市型】	-0.37	0.23	-0.41
クラスターB 【保護地域有・中小都市型】	-0.09	-0.6	-0.12
クラスターC 【従来活動継続型】	-0.4	-0.06	0.47
クラスターD 【保護地域無・大都市型】	0.58	0.59	-0.31
クラスターE 【法人格無・中小都市型】	0.49	0.26	0.62
クラスターF 【目的多様型】	0.99	-0.21	-0.04

- クラスターA： **団体規模**を示す**第3軸**が他のクラスターの中で最も小さい
→ **【法人格有・大都市型】**
- クラスターB： **地域特性**を示す**第2軸**が他のクラスターの中で最も小さい
→ **【保護地域有・中小都市型】**
- クラスターC： **活動の多様性**を示す**第1軸**が他のクラスターの中で最も小さい
→ **【保護地域有・中小都市型】**